

バカマツタケ(キシメジ科)

兵庫県：要注目種

Tricholoma bakamatsutake Hongo

環境省：-

種の概要

マツタケにきわめて近縁でやや小さく、傘は径4~10cm。傘の中央部はくり褐色、周辺部は淡色~ほとんど白色、最初繊維状、のち表皮は裂けて鱗片となる。肉は白色で厚く緻密、匂いはマツタケに似てさらに強く無味。秋にコナラ、ミズナラ、ウバメガシなどの広葉樹林下に群生。



写真提供：池田晴美

国内分布

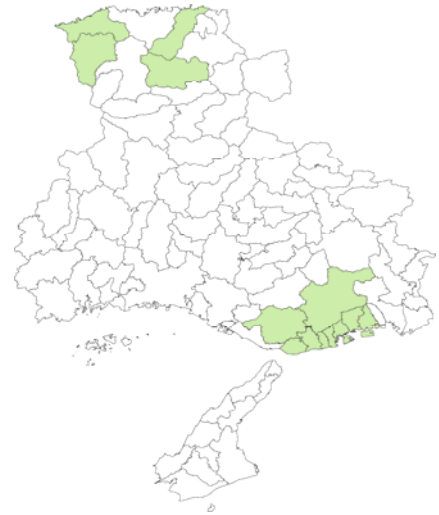
兵庫、他不明

県内分布

神戸市、温泉町、浜坂町、竹野町、日高町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○



特記事項

コナラやミズナラ林などの広葉樹林に発生。マツタケ臭は本物より強い。局地的に発生し観察例が少ない。

保護上の留意点

発生地保全